

お 知 ら せ

吉井川下流域では 少雨による影響が生じています！

(仮称)吉井川水系水利用協議会を発足し、

併せて、今後の渇水対応を協議します！！

近年、水を巡る自然環境や社会経済情勢の変化により、河川水が限りある天然資源として、広く一般にも認識されるようになりました。

吉井川においても健全な水循環の確保と適正な水利用の実現のためには、河川管理者と水利用者等が共通の認識を持つことが重要と考えています。

このような中で、本年4月から苫田ダムが運用開始して吉井川流域の持続的発展の新たな礎(水瓶)を得たことを契機として、河川水文情報の共有化、連絡体制の確立、平常時からの情報や意見交換することを目的とした場を設けるべく、国土交通省岡山河川事務所、同苫田ダム管理所(旧、苫田ダム工事事務所)、岡山県河川課が協同で関係機関に呼掛けを行っていたところ、この度、関係各位の賛同を得られ、全27機関で構成する「(仮称)吉井川水系水利用協議会」が発足することになりました。

別紙のとおり、「(仮称)吉井川水系水利用協議会」の設立会を平成17年6月23日(木)午後1時半より、国土交通省苫田ダム管理所で開催します。なお、少雨による影響が続いていることから、渇水調整に関する協議も併せて行う予定です。

お 問 合 せ 先

国土交通省 中国地方整備局

岡山河川事務所 TEL(086)223-5101 代表

工事施工管理官 池田 龍彦 (内線 510)

管理第一課長 三輪 雅夫 (内線 331)

専門職 影山 貞美 (内線 330)

(別紙)

(仮称)吉井川水系水利用協議会

日時：平成17年6月23日(木) 13:30～15:00

場所：国土交通省 苫田ダム管理所 2階会議室
(岡山県苫田郡鏡野町久田下原1592-4)

主要議事：協議会 設立会

1) 協議会設立

設立趣旨説明・参加機関の紹介・規約採択等

渇水対応

2) 流域内降水量・河川流量について

流域内降水量・河川流量・ダム貯水量の現状

3) ダム貯水量、補給について

ダム貯水量の現状、苫田ダムの状況

4) 今後の降水量の見通しについて

今後の降水量の見通し

5) 暫定行動計画(案)について

渇水調整会議開催及び行動計画(案)

6) 今後の渇水対応について

< 参考資料 >

吉井川水系 主要利水ダム貯水量 <速報値> (6月21日午前9時現在)

ダム名	利水容量 (千 m^3)	貯水量 (千 m^3)	貯水率 (%)	前日との増 減量(千 m^3)	備考
苫田ダム	28,100	24,152	86.0	- 494	
八塔寺川ダム	770	343	44.5	- 23	
津川ダム	1,950	1,055	54.1	- 25	
新田原井堰	2,000	1,361	68.1	- 230	
坂根堰	1,600	555	34.7	- 21	
計	34,420	27,466	79.8	- 793	

* 貯水率は洪水期利水容量に対する貯水量の比率

(別表)

関係機関名	職名
国土交通省岡山河川事務所	所長 管理第二課長
国土交通省苫田ダム管理所	所長
岡山県 保健福祉部	保健福祉部参与
岡山県 農林水産部	耕地課長
岡山県 土木部	河川課長
岡山県 企業局	施設課長
岡山県 備前県民局 東備支局	地域農林水産室長
鏡野町 産業部	農林水産課長
津山市 産業經濟部	農林整備課長
津山市 水道局	次長兼浄水課長
美咲町 柵原総合支所	産業課長 業務管理課長
赤磐市 産業建設部	産業振興課長
赤磐市 上下水道部	水道課長
佐伯町	建設上下水道課長
和気町	産業振興課長
瀬戸町	水道課長
備前市 産業建設部	農林水産課長
備前市 上下水道部	水道工務課長
瀬戸内市 産業建設部	耕地課長
瀬戸内市 上下水道部	上水道業務課長
岡山市 経済局	農業施設課長
岡山市 水道局	配水部長
岡山県広域水企業団	浄水課長
吉井川下流土地改良区	理事長
山陽板紙工業(株)	常務取締役
キンビール(株)岡山工場	業務担当部長
中国電力(株)流通事業本部 津山電力所	津山制御所長

合計 27機関